

[熊本 S.J.C.D.例会 抄 録]

演 題 前歯部外傷における歯槽窩内反転移植症例

演者名 佐藤 俊一郎 (DR)

日 付 2017年10月24日 (火)

Key word 外傷歯
Minimal Intervention (MI)
歯槽窩内移植

抄 録

当院には地域がら開業当初から、転んだ、ぶつけた等の外傷患者が多くその対応に苦慮してきた。国際外傷歯学会に入会し20年以上になるが、いろんなケースを勉強、経験してきて数年前 Fellow を取得するに至った。

外傷歯の患者は比較的低年齢層であることが多いことと、外傷歯は基本的に感染のないあるいは少ない急性疾患であるため、より保存的な治療、すなわち Minimal Intervention (MI) を求めなければならぬし、それが可能である。

今回、前歯部に外傷を起こした26歳、女性に対し、歯槽窩内反転移植を行い保存的治療で終了した症例を発表させていただく。

多くの先生方からご意見・ご指導いただければ幸いです。